

町単独の産業活性化支援

福祉産業建設 常任委員会

8月16日 協議会開催

産業活性化支援の実績報告。農林業および商工観光業者への支援を行い、産業の活性化を期する事業。

平成29年度は、農林業関係5件、商工観光業関係6件の事業を支援。

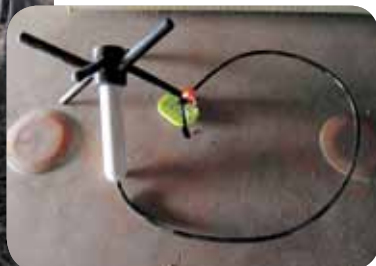
Q 成果が得られた場合に、他の事業者の方へも同様の補助ができるか。

A 新規事業のみの補助となっているので、全く同じ事業は難しい。

Q 町単独の事業か。



産業活性化支援でモウこれからは出産も安心



出産を感知する体温センサー

A 農林業と商工観光業の担当で内容をチェックし単独でやっている。

Q 事業実施後の追跡調査やフォローは。

A 制度化していないが、今後検討したい。

メタン発酵発電施設を研修

7月18日から20日まで、福岡県みやま市、大木町、島根県邑南町を視察

◇みやま市

バイオマス産業都市構想の実現に向け、メタン発酵発電施設を拠点として、菜の花プロジェクトを始め、12のプロジェクトを展開する。

菜の花を栽培し、菜の花オイルを製造販売する一方、廃食用油から※BDFを製造し、メタン発酵施設の燃料として利用するなど。

◇大木町

し尿は、海洋投棄されていたが、生ごみと混合してメタンガスを発生させ、残った液を肥料として資源化を図るため、大木循環センター（メタン）を建設。平成18年度から稼働している。

◇邑南町

日本一の子育て村を宣言し、定住者を呼び込む事業を展開。現在、U・イーターンで定住者が増加しているが、日本一の維持には、限界がある。

る。今後は、地域ぐるみでの子育て支援策を企画していく。

※BDF

バイオディーゼル燃料



メタン発酵発電施設（みやま市）

民間ブロック塀の撤去に補助金

防災・減災対策特別委員会

8月10日 協議会開催

大阪府北部地震で、児童が学校敷地内のブロック塀の崩落に巻き込まれ、社会的問題となった。町の対策など協議。

学校・公共施設などの安全点検

町は152施設を緊急点検し、18施設に安全性が疑問視された構造物を確認。

Q 点検内容は、ブロック塀に限らず、家具留めなど、全てとした。

A 18施設の対策は、学校・保育園など16施設を8月中に撤去。



申請第1号で撤去したブロック塀

民間ブロック塀等のパトリールと撤去費の補助

避難所周辺道路に面した民間ブロック塀67件の内、22件が危険と確認。所有者に直接伝えた。

Q 撤去対象・補助額は、高さが1m超のブロック塀など。

A 撤去費の2分の1。ただし上限が10万円。

Q 1カ月間の補助申請は、相談15件で、申請が6件。今後増える見込み。

通学路の安全点検

調査対象は、通学路に面した高さが1.2mを超えるブロック塀、自販機、看板などを調査。

8月3日 協議会開催

幸田・三ヶ根駅前整備特別委員会

三ヶ根水路（駅東口）等の整備状況

国道23号から下流、JR軌道沿いまでの水路全ての暗渠化を完了。

平成29年度、駐在所東側のロータリーからJRと並行する町道までの道路整備を完了。

三ヶ根駅東側広場は、地元関係者と意見交換し、地区全体の整備計画を考えた。

Q 町有地を駐車場にする考えは、

A 今後、協議して進めたい。

整備が進む 幸田駅前

Q 三ヶ根駅周辺の整備計画の考えは、

A 地区全体の計画を作り、整備したい。

幸田駅前土地区画整理事業の工程

平成30年度は芦谷高力線、JR側の電線共同溝工

Q 駅周辺の雨水処理状況は、

A JRを横断している水路が3カ所ある。



車線変更して整備が進む幸田駅前